

震災復興や新興国の近未来に役立つ情報ネットワーク技術特集号 (和文論文誌B)論文募集案内

ICT先進国の日本では、様々なICTサービスが利用されています。東日本大震災でも、電話に代わりツイッターなどのインターネットを活用した通信の活躍が報じられました。しかし、被災地域ではバックアップを用意したICTシステムでさえ多重故障により通信が途絶しました。直接の被災を免れたICT装置も、長時間停電などの影響で動作不能に陥りました。このため、災害対策や復興に向けたICT研究開発は重要課題と認識されています。また、最近では海外でも多くの災害が報じられており、通信サービスも含めたBCP(事業継続プラン)への注目度が高まっています。新興国の辺境地域などでは、安定した通信サービスの提供自体が大きな課題となっています。

このような背景から、省電力技術や高信頼技術に留まらず、新たな通信アプリケーション技術やソーシャルネットワーク技術なども含めた幅広いテーマで情報ネットワーク技術の研究成果を論文として発表して頂き、震災復興や新興国の近未来に貢献することを目的として、本特集号(2013年6月号)を企画致しました。

多くの皆様からの御投稿をお待ちしております。

1. 対象分野

信頼性技術、省電力技術、経済化技術、セキュリティ技術、多様化技術、IPネットワーク、モバイルネットワーク、アドホックネットワーク、ソーシャルネットワーク、プライベートネットワーク(VPN)、新サービス提供技術、トラフィック制御、品質(QoS)制御、ふくそう制御、ネットワーク管理、リソース管理

2. 論文の執筆と取扱い

- 通常の一般論文と同一とし、論文は原則として刷り上がり8ページ以内とします。詳細は投稿のしおり http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.htmlを御参照下さい。
- 査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 主なスケジュール

- **投稿締切: 2012年10月1日(月) 厳守**
- 初回判定通知予定: 2012年11月中旬頃
- 最終判定通知予定: 2013年2月下旬頃
- 発行月: 2013年6月号

4. 問い合わせ先

船越 裕介 (NTTサービスインテグレーション研究所)
〒180-8585 東京都武蔵野市緑町3-9-11
TEL:0422-59-7839
E-mail:in-wb2013@m.ieice.org

5. 投稿方法

(A) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿原稿のPDFファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

【注意】 登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール(Notification of completion for Temporary Registration)が送信されますので、メール内に記載のURLから「仮登録情報の修正/削除、電子投稿(原稿のアップロード)画面」にアクセスして下さい。表示される画面から原稿のアップロードができますので、**必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。**

(B) 郵送

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

郵送物送付先:

一般社団法人 電子情報通信学会 編集出版部論文課
〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館

6. 特集編集委員会

【編集委員長】鈴木 光(NTTコミュニケーションズ)

【編集幹事】: 石田 賢治(広島市大), 船越 裕介(NTT)

【編集委員】: 阿多 信吾(阪市大), 石橋 孝一(三菱), 井戸上 彰(KDDI研), 川原 憲治(九工大),

橘 拓至(福井大), 田中 亮一(日立), 中村 信之(沖電気), 流田 理一郎(ATR), 松澤 茂雄(東芝), 村瀬 勉(NEC)



電子情報通信学会
通信ソサイエティ
IEICE Communications Society